

中学校 英語科 部会

部会長名 福智町立金田義務教育学校 校長 井上 修一
実践者名 川崎町立川崎中学校 教諭 藤川 梨紗

1 研究主題

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元を通した英語科学習指導法
～振り返りシートを用いた見通しをもった反復学習の工夫～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領等から

『中学校学習指導要領解説外国語編』では、「外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度」を育成することが目標とされている。学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、これまでの学校教育の蓄積を生かし、学習の質を一層高める授業改善の取り組みを活性化していくことが必要であり、普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、アクティブ・ラーニングの視点に立った授業を推進することが求められている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け実践していく上で、具体的に、子どもが学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるように工夫することなどが挙げられる。

(2) これまでの反省から

これまでも単元の課題設定や授業毎の小テストなど、授業を通してどのような力を育成するべきかを考えてきた。しかし、授業だけでなく単元を通して生徒が自ら学びたいと思い、既習事項を言語活動において活用しようとする生徒が少ないことが課題であった。このような課題解決に向け、振り返りシートを有効に活用することが大変意義深いと考え、本主題を設定した。

3 主題の意味

(1) 主題について

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元を通した英語科学習指導法」とは、生徒が単元ごとに使いたい文法やフレーズ、単語を用いた表現を教師が事前に提示し、単元を通して言語活動を行わせることで、伝えたいことを伝えられるように発展させていく指導法である。

(2) 副題について

「振り返りシート」(資料1)とは、授業の振り返りを生徒が書き込むための単元毎の学習シートである。単元の最初の授業前に行う事前課題と単元終了後に行う事後課

題と全体の振り返りを記入する欄の表面と授業毎での振り返りを行う裏面で構成した。

【資料1】

PROGRAM5 Reflection sheet 表

Class() No.() Name()

単元目標

- ・人やモノを詳しく説明して表現することができる。(関係代名詞主格)(知) →学習した知識を用いて、ペアなどでスピーキングをしたり、適切な場で使うことができる。(技)
- ・自分の好きな人やモノについて説明することができる。(思) →チョコレートの歴史・産業、フェアトレードについて読み取ることができる。(思)
- ・ペアやグループで協力しながら、英語で伝えたいことを表現しようとしている。(主)

事前課題 あなたはあなたの交友関係を全く知らないALTのトベット先生に自分の好きな人モノ(家族・友人、ペット、音楽、アニメ...)を紹介しましょう。その時、どのような人物・モノであるかとトベット先生が理解できるように分かりやすく、詳しい英語で表現しましょう。

事後課題

授業を通して、事前課題を改善、訂正し、よりよいものに書き直して下の表に完成させましょう。



アドバイス・授業を通して使える表現メモ

記載場所	どのように？
教科書 P65	My favorite singer <u>who makes me very fun</u> is Risa. 言いたいことを[文で言える] → singerを変えたらいいかも!

・今回の単元を通して、自分なりに頑張ったところ、難しかった・わからなかったところをどのように克服したか工夫した点などを日本語で振り返ろう。

・今回の授業で学習した内容はどんな時に使えると思いますか、具体的に使える場面を書いてください。また、この表現をマスターしたらどのような良い点が増えるでしょうか。
例：(過去形)今までは現在のことしか相手に伝えられなかったけれど、過去形を学習することで昨日したことを友人に伝えられるようになった。また、相手にも Did you ? と尋ねることで、相手が出たことがわかるので便利になった。

PROGRAM5 Reflection sheet 裏

Class() No.() Name()

Date	大切なこと・わかったこと	頑張ったこと・できなかったこと(達成・継続)	Q&A	めあて達成度	授業の態度・姿勢
				A B C	A B C
				A B C	A B C
				A B C	A B C
				A B C	A B C
				A B C	A B C
				A B C	A B C

※自分の言葉でいいので考えたことをたくさん書き記しましょう◎
※時間内に終わらない場合はその日の放課後までに boxの中に入れておいてください。

「見通しをもった反復学習」とは、資料2のように毎時間の英単語の復習【以下、反復学習 A】を定期的を確認したり、学習ソフト（ロイロノート）を用いてゲーム感覚で文法の振り返り【以下、反復学習 B】や確認をしたりすることである。その際、振り返りシートに記入した内容を基に文を作成、問題を解く活動を取り入れるように工夫する。

【資料2】



4 研究目標

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元を貫く英語科学習指導において、振り返りシートを用いた反復学習の有効性を究明する。

5 研究仮説

振り返りシートを用いた見通しをもった反復学習の工夫を取り入れた学習を行えば、「主体的・対話的で深い学び」への態度を育成することができるであろう。

6 研究の計画（授業計画）

(1) 単元 PROGRAM 5 The Story of Chocolate Sunshine English course 3 (開隆堂)

(2) 単元の目標及び指導計画

単元	program 5 The Story of Chocolate Sunshine English course 3 (開隆堂)	総時数	8 時間	時期	9 月
単元の目標	<p>○関係代名詞主格の構造を理解することができる。</p> <p>○チョコレートの歴史やフェアトレードについて関係代名詞を含む英文を読み、内容を理解することができる。 (知識及び技能)</p> <p>○好きな人について関係代名詞を用いた文を使って表現することができる。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○関係代名詞を使い、相手に伝わるようにコミュニケーションを積極的に</p>				

	行おうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)
--	-----------------------------

(3) 評価

パフォーマンステスト・実力テスト・振り返りシート

7 指導の実際

(1) 単元指導計画

次	配当時間	学習内容・活動	評価規準	評価方法
1次	1	Program5 scenes1 p.65 反復学習 A 1 関係代名詞主格 who を学習する。 2 将来どのようになりたいかをペアで交流する。 振り返りシート記入。	関係代名詞主格 who の構造を理解することができる。[知識・技能] 自分の好きな人について表現しようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]	様相観察 ペーパーテスト等
1次	1	Think part1 p.66 反復学習 A・B 1 本文の対話文をデジタル教科書で読み取る。 2 興味深かった箇所をペアで交流する。 振り返りシート記入	チョコレートの歴史について長文を読むことができる。[知識・技能] ICTを活用し、身近なチョコレートについて興味をもって読もうとしている。[主体的に学習に取り組む態度]	様相観察 発表
2次	1	Program5 scenes2 p.65 反復学習 A・B 1 関係代名詞主格 which を学習する。 2 好きな動物について、ペアで交流し、その後クイズを作成し、交流する。 振り返りシート記入。	関係代名詞主格 which の構造を理解することができる。[知識・技能] ヒントとして成立するような分かりやすい文章を作成しようとしている[主体的に取り組む態度]	ペーパーテスト等 様相観察
2次	1	Think part2 p.67 反復学習 A 1 ミルクチョコレートの誕生の歴史に関わる本文を読む。 2 デジタル教材の拡大機能と付箋を使いチョコレートの消費量の変化を表すグラフ	関係代名詞を含んだチョコレートの歴史についての本文を読み取ることができる。[知識・技能] ミルクチョコレート誕生の歴史やチョコレート年間消費量から、自分の意見を伝え	様相観察 振り返りシート

		について交流する。 振り返りシート記入。	ようとしている。 [主体的に取り組む態度]	
3次	1	Program5 scenes3 p.65 反復学習 A・B 1 関係代名詞 who/which の復習と関係代名詞 that の学習を行う。 2 自分の知っている人やモノを、デジタル教材を参考に文を作り、ペアで交流する。 振り返りシート記入。	関係代名詞の構造について理解することができる。[知識・技能] 自分の知っているモノ・人を相手が分かりやすい英文を用いて表現しようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]	様相観察
3次	1	Think part3 p.68 反復学習 A 1 デジタル教材を使用して、本文を理解する。 2 フェアトレードについての自分の考えを交流する。 振り返りシート記入。	関係代名詞 that 主格を含む長文を読みとり、フェアトレードについて自分の意見を即興でやりとりすることができる。[思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]	様相観察
4次	1	Retell p.69 反復学習 A・B 1 キーワードを参考に本文の内容をつかむ。 振り返りシート記入。	関係代名詞 who/which/that 主格の表現を含んだ文章を読み、内容の大枠を掴むことができる。[思考・判断・表現]	ペーパーテスト等 様相観察
4次	1	Interact p.70 反復学習 A・B 1 関係代名詞 who/which/that 主格を復習する。 2 自分の好きな人を、関係代名詞を用いて表現し、振り返りシート記入。	関係代名詞の構造を理解し、関係代名詞を用いて自分の好きな人について、相手に伝えるように工夫して書くことができる。[知識・技能] [思考・判断・表現]	ペーパーテスト等 様相観察

(2) 反復学習 A について

① 受験英単語クイズ

事前に受験英単語のプリント（資料3）を配布し、家庭学習等で勉強をさせる。授業の始めの1分間で見直しの時間とロイロノートにログインする時間を取り、その後約5分間で、全員でゲームモードを使いクイズを行う。（資料4）

クイズの内容は、様々な形式を準備し、反復させながら理解をさせる。1人1台端末を活用し、生徒が個人で考えてゲーム

【クイズ形式例】

- ア 日本語から英語にする
- イ 英語から日本語にする
- ウ 選択問題
- エ A L T の声を基に問題に答えるリスニング問題
- オ イラストから答える問題
- カ 与えられた単語を基に文章を作成する

に参加できるようにする。間違いが多い問題には解説を準備し、解説を通して理解させる。

【資料 3】 高校受験対策英単語一覧(名詞②)

name()			
English	Japanese	English	Japanese
father	お父さん	volunteer	ボランティア
mother	お母さん	body	体、からだ
parent	親	head	頭
brother	兄、弟、兄弟	brain	脳
sister	姉、妹、姉妹	heart	心臓
son	息子	face	顔
daughter	娘	hair	髪の毛
family	家族	eye	目
child	子供	mouth	口

【資料 4】

得点	雨は英語で？半角 (配点 1)	snow意味は？ (配点 1)	星英語で？ (配点 1)	水は英語で？ (配点 1)
4 / 5	✗ rainy	✓ 雪	✓ star	✓ water
2 / 5	✓ rain	✗ 見せる	✗ suta	✗ warte
4 / 5	✓ rain	✓ 雪	✓ star	✗ wotr

(2) 反復学習 B について

① 振り返りシート

単元の最初の授業では、地元や友人など身近な話題や興味のあるトピックから、必然性のある課題を提示し、ALT の先生に対して好きな人やものを紹介する作文を書く活動を行う。そして、単元計画や目標を共有する。

授業の最初には、前時の授業の復習をするために振り返りシートを見直させ、スモールトークなどペアでの活動をするときに活用させる。授業の展開では、使いたい表現や便利な表現を見つけた時に、メモとして記入させていく。終末では、今日の授業のまとめを自分の言葉で記入させる。

単元の最後に、授業のメモを参考に、事前課題を改善し、事後課題を完成させる。

8 研究のまとめ

(1) 反復学習 A について

① 月末英単語テストの結果 (平均点) の推移

1 回目 (5 月)	3 回目 (学期初め)	6 回目 (2 学期最後)
7.91	12.7	14.2

※英単語テストは単語の数によって満点数が異なっていたので20点換算

1 回目のテストでは、英語を日本語にする問題と選択問題は解答することができていたが、スペルを書くことは正解率が低く、平均点が半分以下という結果であった。しかし、英単語練習を繰り返すことで、生徒もフォニックスやそれ以外のサイトワードなど規則を自分なりに見つけ書くことができるようになったと考えられる。また、ロイロノートの問題はテストとは異なるが、生徒にはいつでも見ることができるよう共有しているため、最初は授業以外で使うことはなかったものの、休み時間やテスト前、家庭学習で自ら利用するようになった。このことは、ロイロやクラスルームの履歴からもうかがえる。このように反復して取り組むことが2学期最後の結果につながっていると考える。

②英単コンクールの結果(平均点)からの考察

1 年生の時	2 年生の時	3 年生の時
73 点	88 点	93 点

1 年生の英単語テストでは、100問中73点、2年生では88点、3年生では93点であった。3年生に関しては、受験によくでてくる英単語ということで、ロイロノートで確認していた単語と重複している箇所も多く、結果が向上したと考えられる。

(2) 反復学習 B について

①スピーキングテストの結果からの考察

ALT の先生によるスピーキングテストを毎学期実施している。今年度は、振り返りシートに記入した事前課題・事後課題を含む質問と、自分自身に関する質問を行った。ここでは、ロイロノートに録画させ授業内に提出させるなど反復学習を取り入れた。内容(contents)の面においてCの評価の生徒が減ったことから、評価が上がったと考えられる。しかし、Aの評価の生徒が減少したことにより、スピーキング力の底上げに関しては課題が残る。

②実力テストの結果からの考察

領域名・ねらい	平均正答率
リスニング問題	31パーセント
対話の完成	39パーセント
会話文の読解	21パーセント
長文の読解	21パーセント
英作文	14パーセント

全体的に正解率は低く、特に英作文に関しては一層低い結果となった。英作文においては、30語以上で書くという条件英作文であったが、その条件に満たない生徒が多くいた。このことから、反復学習で得た知識を用いて英語の文で書いて表現す

る力の育成が必要であるとする。

(3) 振り返りシートからの考察

事前課題では、“I like ~.” などのように1文しかかけていない生徒が、事後課題では、関係代名詞を用いて紹介することができていた。また、振り返りシートに、今回の単元を通して克服したことやその克服方法と今回の授業で学習した内容が使える場面などを記入させている。生徒の記述として、「相手に2つ以上の情報を伝えたいときに1文で言うことができるから簡潔に伝えられる」など、関係代名詞のもつ言語の働きに関する内容があった。以上のことから、振り返りシートが単元を通して頑張ったこと、大切なことを可視化する手助けになっていると考えられる。

【資料5】

事前課題 あなたはあなたの交友関係を全く知らないALTのトベツ先生に自分の好きな人(好きな人・友人・後はい・家族などなど)を紹介しましょう。その時、どのような人物であるかトベツ先生が理解できるように分かりやすく、詳しい英語で表現しましょう。

I like chocolate cake

事前課題 あなたはあなたの交友関係を全く知らないALTのトベツ先生に自分の好きな人(好きな人・友人・後はい・家族などなど)を紹介しましょう。その時、どのような人物であるかトベツ先生が理解できるように分かりやすく、詳しい英語で表現しましょう。

I like cats. It is very very cute!!
I can't have cats. I want cats.
△ I'm sad!!!! Cats makes me
happy.

事後課題

・授業を通して、事前課題を改善、訂正し、よりよいものを書き直して下の表に完成させ

I like food which calls chocolate
which is sweet and makes me hat
? like this movie which calls "Anoha
okade kimitomata de a e tara".
which is impress charm.

事後課題

・授業を通して、事前課題を改善、訂正し、よりよいものを書き直して下の表に完成させ

I like cats which is very cute.
I want a cat which can make me ha
I want to touch the cat which is
cute. I want to see a cat that ea

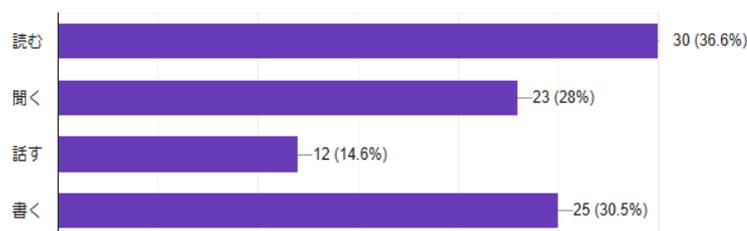
(4) 生徒アンケートからの考察

単元を見通した振り返りシートの活用に関して、生徒は肯定的にとらえ、約90パーセントの生徒がいいと思っている。さらに、生徒からのコメントでは、「見返したときにどんな内容でどんなことを学べた授業なのかを自分で知ることができるから」などがあった。このことから、振り返りシートを用いた反復学習は有効であったと考える。

授業の最初と最後で伸びた実感があるものはありますか

82件の回答

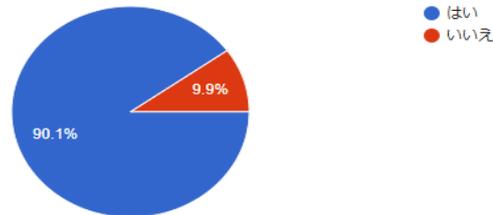
 グラフをコピー



事前課題、事後課題などまとまりのある授業はあなたにとっていいですか。
いいえと答えたら理由も一緒に

 グラフをコピー

81件の回答



9 成果と今後の課題

- 見通しをもった振り返りシートを用いた学習では、主体的に生徒が取り組むうえで有効であった。このシートを単元全体で活用することが、授業は1回で完結するものでないと生徒に気づかせ、英作文や会話がスムーズにできるようになるまで何度も挑戦したり、やり直したりして、あきらめずに粘り強く活動を行う上でヒントとなった。
また、学んだ表現を英語の授業で「使ってみたい」と思う理由付けとしても効果的であったと考えられる。
- 反復学習 AB（ロイロノートを使った英単語テストや文法の振り返り）は、語彙力を伸ばすうえで効果的であった。月末英単語テストでは大幅に正解率が上がったことから、継続的に英単語を確認する習慣がついたと考えられる。
- 今回の実践においては、生徒のアンケートで「伸びたと考えられる技能」において、生徒がどの技能も伸びていないと考える生徒が約37パーセントいたため有効性に一部疑問があったと考える。生徒が自ら学習した内容をさらに実感できるような取り組みにする必要がある。
- 反復学習では単語の定着がみられたものの、その得た知識を用いて英語の文で書いて表現する力の育成が必要であると考え。今後は、文や文章レベルで繰り返し場面や条件を変えて活用させていくような言語活動を仕組んでいく必要がある。

◎ 参考文献

- 『中学校指導要領（平成29年告示）解説外国語編』文部科学省（2020）
- 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター
- 本多敏幸（2018）『中学校新指導要領英語の授業づくり』明治図書
- 本多敏幸（2020）『ペーパーテスト&パフォーマンス例が満載！新3観点の学習評価完全ガイドブック』明治図書
- 本多敏幸（2011）『若手英語教師のためのよい授業をつくる30章』教育出版
- 楽山進（2019）『全員を引き込む！中学校英語導入のアイデア』明治図書
- 関正生（2012）『世界一わかりやすい中学英語の授業』中経出版
- 鈴木渉（2017）『実践例で学ぶ第二言語習得研究に基づく英語指導』大修館書店

- 又野陽子 (2017) 『はじめてのオールイングリッシュ授業』 明治図書
- 瀧沢広人 (2021) 『中学校の英単語超指導法』 明治図書
- 瀧沢広人 (2016) 『絶対成功する！アクティブ・ラーニングの授業づくりアイデアブック』 明治図書
- 瀧沢広人 (2017) 『絶対成功する！アクティブ・ラーニングの英文法ワークアイデアブック』 明治図書
- 瀧沢広人・大塚謙二・胡子美由紀・畑中豊 (2020)
『4 達人に学ぶ！究極の英語授業づくり&活動アイデア』 明治図書
- 上山晋平 (2016) 『英語教師のためのアクティブ・ラーニングガイドブック』 明治図書
- (2021) 『英語教育別冊英語教師のための ICT 端末活用授業ガイド』 大修館書店
- 田中武夫・田中知聡 『英語教師のための文法指導デザイン』 大修館書店
- 『授業力&学級経営力』 編集部編 (2021)
『ICT×英語 GIGA スクールに対応した 1 人 1 台端末の授業づくり』 明治図書
- 村上加代子 (2018) 『読み書きが苦手な子どものための英単語指導ワーク』 明治図書